

□ 8月9日〔平和集会での話〕～多様性の容認が世界を平和にする～

8月9日は平和を祈る大切な日でした。6日には広島での平和式典があり、明後日は終戦の日です。このところの世界情勢を踏まえると、子どもたちの未来のために、より一層“平和”“原爆”についての学びを進めていくことが、私たち大人の重要な関わりであることを再認識しています。9日の平和集会では、子どもたちに以下のメッセージを伝えました。

79年前の今日、8月9日は長崎に原子爆弾が投下され多くの人々が亡くなりました。同じく79年前の8月6日には広島に原爆が投下され、一昨日の6日には平和式典が行われていました。本日長崎市の平和公園でも同じように平和式典が行われます。どんなことが行われているか、ニュースなどで「**知ってほしい**」と思います。

また、今も世界中で様々な争いが起こっています。世界が平和になること、世界中の核兵器が世界からなくなることは簡単な事ではないかもしれませんが、世界の平和について、しっかり考え続けることが大切だと思います。今日は、静かに平和について考える一日にしてください。

さて、今、パリオリンピックが開催されています。みなさんもテレビで様々な競技を見えていますか。それぞれの国々の代表選手は武器や暴力でなく、正々堂々とスポーツで戦っています。それが見ている人々の心に感動を呼ぶのです。

イスラム教の女性選手は髪をかくして競技に参加しています。オリンピック村では豚や牛を食べない国の人々のための料理があります。オリンピックをはじめ多くの世界大会は様々なちがいを受け入れながら行われます。また、身体に障害のある人々のスポーツの祭典「パラリンピック」もこの後行われます。ハンディキャップを乗り越え競技する選手皆さんの姿は、きっと多くの感動を与えてくれるものだと思います。応援しましょう。

様々なちがいや障害のあるなしにかかわらず、そのことを理解し受け入れることを「**多様性**」と言います。**多様性を受け入れる心は、【仲良く思いやりのある心】**です。この心で生活することは、核兵器や戦争のない平和な世界につながります。平和の実現は誰か一人だけの力ではなく、みんなが一緒になって目指すことによって成し遂げられるものだと思います。

そして、**仲良く思いやり**の心で生活することが大切だということは、みなさん「**知っている**」ことですね。そこから、小さな「っ」を取って、**お互いを大切に「している」、仲良く思いやりのある心で生活「している」**へと変化していきましょう。

□ 道脇一孝庁務員のご逝去を子どもたちに伝えました。



道脇庁務員様のご逝去につきましては、既に保護者の皆様にはお伝えしていましたが、子どもたちにも、この悲しいお知らせをしなくてはなりません。8月9日、平和集会の前に、道脇さんが心を込めて子どもたちのために育てていた“ひまわり”の画像を使って、人柄や思いなどとともにお伝えしました。私は、これから“ひまわり”を見るたびに、道脇さんのことを思い出して、思いや願いを繋いでいこうと思っています。

下校時の子どもの中に、ロータリーの“ひまわり”にそっと手を合わせる子どもたちがいました。道脇さんは、私たちの心の中に生き続けられると感じています。